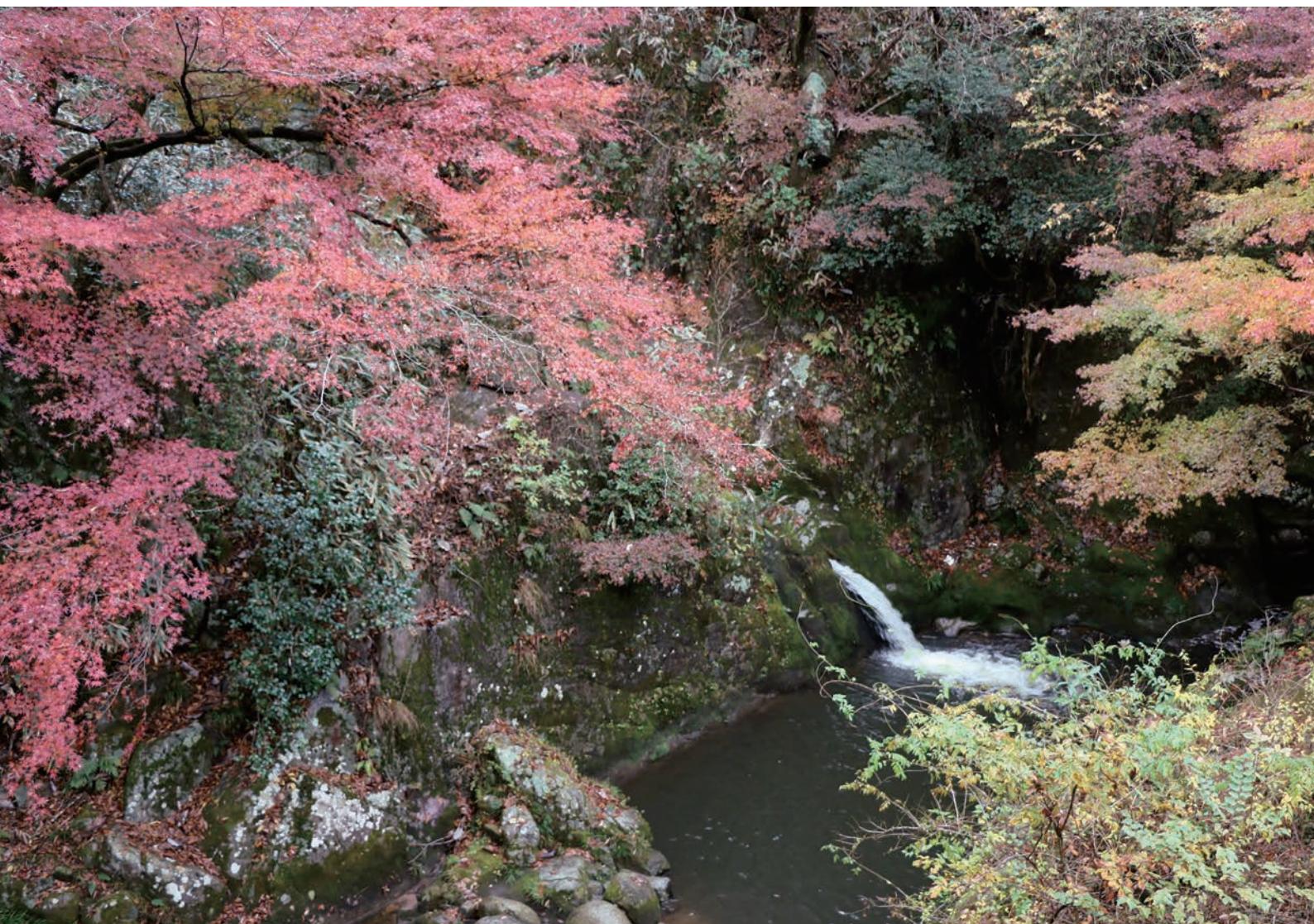


議会だより

2025.11
NO.185

たかはぎ



花貫渓谷の紅葉

令和7年第3回定例会

会期	9月5日～9月25日
議案に対する質疑	4
委員会審査報告	5
市政に対する一般質問	7

高萩市議会
ホームページ



花貫渓谷 紅葉まつり

期 間	11月1日(土)～30日(日)
ライトアップ	11月8日(土)～24日(月・休) (日没～19:00)



令和7年第3回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
決議案第1号	大平望議員に対する辞職勧告決議の提出について	大平望議員の陳情者を揶揄、排除するようなSNS発信は、議会の品位と市民の信頼を著しく損ねたことを自覚し、その責任をとって議員を辞職することを勧告するもの。	原案決議(賛成多数)
報告第9号	専決処分の承認を求めるについて(令和7年度高萩市一般会計補正予算(第2号))	歳入歳出予算に、9,907万円を追加したもの。定額減税不足額給付金給付経費の増。	原案承認(全員賛成)
報告第10号	令和6年度高萩市一般会計継続費精算報告書について	萩っ子・子育て支援事業計画策定経費の継続費の精算を報告するもの。	—
報告第11号	高萩市健全化判断比率について	実質公債費比率 8.3% 将来負担比率 30.4%	—
報告第12号	高萩市資金不足比率について	水道事業会計 なし 工業用水道事業会計 なし	—
議案第34号	高萩市教育委員会の委員の任命について	佐川睦子氏が任期満了となるため、再任について、議会の同意を求めるもの。	原案同意(全員賛成)
議案第35号	高萩市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	乳児等通園支援事業が新たに市町村の認可事業として創設され、その設備(保育室等の面積、調理設備、耐火基準等)及び運営(安全計画、重要事項に関する規程策定等)等に関する基準を定めるもの。	原案可決(全員賛成)
議案第36号	高萩市職員の育児休業等に関する条例及び高萩市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正に伴い、職員の育児時間を2つの形態とし、いずれかを選択して取得することを可能とするもの等。	原案可決(全員賛成)
議案第37号	高萩市議會議員及び高萩市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙運動用ビラ及びポスターを作成する場合の公費負担限度額を引上げるもの。	原案可決(全員賛成)
議案第38号	高萩市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	水道法施行令等の一部改正に伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件を見直すもの。	原案可決(全員賛成)
議案第39号	令和7年度高萩市一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算に、3億1,533万円を追加するもの。たかはぎ生活応援事業経費等の増等。	原案可決(全員賛成)
議案第40号	令和7年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算に、224万9千円を追加するもの。一般会計繰出金の増等。	原案可決(全員賛成)
議案第41号	令和7年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算に、88万7千円を追加するもの。後期高齢者医療広域連合納付金の増。	原案可決(全員賛成)
議案第42号	令和7年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算に、2億1,235万2千円を追加するもの。介護給付費準備基金積立金の増等。	原案可決(全員賛成)

令和7年第3回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
議案第43号	令和7年度高萩市水道事業会計補正予算（第1号）	収益的支出を350万円減額するもの。人事異動に伴う人件費の減。	原案可決（全員賛成）
議案第44号	令和7年度高萩市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	収益的支出を48万4千円減額するもの。人事異動に伴う人件費の減。	原案可決（全員賛成）
議案第45号	令和6年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について	歳入 139億 2,084万 8円 歳出 132億 2,131万 2,984円	原案可決（全員賛成）
議案第46号	令和6年度高萩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 28億 3,916万 4,667円 歳出 28億 319万 2,554円	原案可決（全員賛成）
議案第47号	令和6年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 4億 9,127万 4,859円 歳出 4億 9,038万 8,699円	原案可決（全員賛成）
議案第48号	令和6年度高萩市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	（保険事業勘定） 歳入 28億 9,087万 6,796円 歳出 26億 8,004万 90円	原案可決（全員賛成）
議案第49号	令和6年度高萩市靈園事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入 1,926万 6,327円 歳出 1,713万 9,766円	原案可決（全員賛成）
議案第50号	令和6年度高萩市水道事業会計決算認定について	収益的収入 6億 8,318万 6,066円 収益的支出 5億 4,790万 7,028円 資本的収入 3億 955万 8千円 資本的支出 5億 3,713万 546円	原案可決（全員賛成）
議案第51号	令和6年度高萩市工業用水道事業会計決算認定について	収益的収入 2億 753万 6,422円 収益的支出 1億 5,151万 8,056円 資本的収入 7,660万円 資本的支出 1億 7,500万 7,537円	原案可決（全員賛成）
議案第52号	高萩市水道事業会計利益の処分について	令和6年度末未処分利益剰余金残高 1億 7,516万 7,600円のうち 7千万円を減債積立金に積立て、9,444万 400円を自己資本へ組み入れるもの。	原案可決（全員賛成）
議案第53号	高萩市工業用水道事業会計利益の処分について	令和6年度末未処分利益剰余金残高 1億 3,888万 4,064円のうち 2,500万円を減債積立金に、1千万円を建設改良積立金に積立て、8,602万 562円を自己資本へ組み入れるもの。	原案可決（全員賛成）
	議員の派遣について	茨城県市議会議長会が主催する議員研修会へ派遣するもの。	原案可決（全員賛成）
意見書案第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書の提出について	提出された請願の採択により議会として意見書を政府に提出するもの。	原案決議（全員賛成）

提出された議案等について、内容の詳細は、議会事務局で閲覧できます。

議案質疑

議案第36号

高萩市職員の育児休業等に関する条例及び高萩市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

藤橋 隼 議員

質問 意向確認や面談など新たな義務で任命権者の負担増が懸念されるが体制は整っているか。正規職員の部分休業も現実的に取得できるか。

企画総務部長 事務負担は増えるが職員が安心して利用できる環境整備が重要であり、所属長と連携し円滑に運用する。部分休業も業務分担の工夫やマネジメントで改善を図り、仕事と家庭の両立に資するよう職場全体で取り組む。

議案第39号

令和7年度高萩市一般会計補正予算(第3号)

藤橋 隼 議員

質問 外国人観光客向け情報発信の課題と効果、検証方法や受入体制、オーバーツーリズム対策はどうになっているか。

産業建設部長 外国人観光客は増加傾向で認知度拡大が課題である。インフルエンサー活用で国際的な発信を図り、効果はリーチ数やエンゲージメントで検証する。英語・中国語案内や翻訳機器を整備し、多言語対応を進める。紅葉期の渋滞対策として警備員配置やシャトルバス運行を行い、マナー問題にも適宜対応する。

坪和 久男 議員

質問 駅前自転車等駐車場防犯カメラ設置工事請負費 205万7千円の補正理由について伺います。

企画総務部長 本年7月に高萩警察署長から、駅前自転車等駐車場付近への街頭防犯カメラの設置要望が提出され、防犯抑止力を高めること、自転車等駐車場を安心して御利用いただけるよう、早急に対応が必要なことから、補正予算を提案したものです。

質問 駅前自転車等駐車場防犯カメラ設置工事の内容について伺います。

企画総務部長 駐車スペース内を死角なく撮影するため、7台のカメラの設置を現時点では予定をしております。

質問 道路維持管理経費 466万7千円、市道草刈り清掃委託料 397万4千円、市道樹木剪定等委託料 69万3千円の実施場所について伺います。

産業建設部長 草刈り清掃につきましては9路線、市道116号線、通称お手まき通りで、作業延長約1.6キロメートル他となります。

樹木剪定等につきましては、松久保工業団地内道路法面の繁茂した樹木の伐採であります。

田所 和雄 議員

質問 農業用施設管理経費の消耗品等修繕料1,100万円の事業内容について伺う。

産業建設部長 常設員から修繕要望がありました、経年劣化による水路の目地切れ等に伴う修繕経費です。耕作に影響のないよう修繕を実施する必要があることから、耕作時期が終了した後の9月補正予算として提案するものです。

質問 花貫さくら公園トイレ解体工事請負費588万9千円について、補正の理由と事業内容について伺う。

産業建設部長 花貫さくら公園は、平成13年にトイレや流し台を設置し、桜まつりの会場として利用してきました。使用する水については、浅い井戸を掘り、ポンプで給水していましたが、現在は水が枯渇しトイレや流し台は使用中止としています。水量の確保には、新たに井戸を掘る必要があり多額の費用がかかるとの見解です。アセットマネジメントの観点からも、解体・撤去が望ましいと判断しました。

》委員会審査報告〈

総務産業委員会

9月16日、当委員会に付託された議案6件、陳情1件の審査を行った。

○議案第36号 高萩市職員の育児休業等に関する条例及び高萩市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 現在の部分休業の制度の概要について伺う。
答 小学校就学の始期に達するまでの子を養育するため、1日につき2時間を超えない範囲内で、勤務時間の終わりまたは始めて30分単位として取得できる休業となる。

改正後は、年10日相当の勤務時間の範囲内で、1日あたりの上限時間なく1時間を単位として取得できる休業が追加となる。

問 働き方の選択肢を増やす方法としてテレワークもあると思案するが市の考えを伺う。

答 テレワークは実施できる体制であり、実例もある。

○議案第39号 令和7年度高萩市一般会計補正予算（第3号）

問 生活応援ギフト券給付費7,650万円について伺う。

答 いわゆるおこめ券であり、高萩市内では、カスミ、ウエルシア、サンユー、ベイシア、ツルハドラッグ、JA常陸高萩農産物直売所で使用可能と想定している。その他の店舗についても、実際の支給の折、市民の方々が使用する段階になったときに、改めて広報等していく予定。

問 観光施設管理運営費に関する花貫さくら公園のトイレについて伺う。

答 さくら公園のイベントとしてはダムの点検放流を行っている。県の担当と今後の開催の可否も含めて協議、検討する予定。仮設トイレの設置を検討していくことを想定しているが、新たなトイレの整備については、アセットマネジメントの観点からも難しいと考える。

文教厚生委員会

9月12日、当委員会に付託された議案6件、請願1件の審査を行った。

○議案第39号 令和7年度一般会計補正予算（第3号）

問 生活保護費返還金4,078万円の内訳と要因は。

答 内訳は、医療扶助費2,330万円、生活扶助費1,479万、介護扶助費269万円である。主な要因は、医療費の支給額が見込みより少なく国庫返還となった。

問 こどもの広場樹木伐採費48万円の補正理由は。

答 駒木原第2こどもの広場で樹木85本を伐採する予定。見通し改善や犯罪防止のため。

問 こども園送迎バス委託料82万7千円の補正理由は。

答 初期は会計年度任用職員で運行予定だったが、安定運行のためシルバーハンモックセンターに委託したため。

問 学校のLED化で対象校が限られる理由は。

答 統合予定の3校の大規模な設備更新については慎重な対応が必要であるため、統合予定のない秋山小・中、松岡小・中を対象とした。統合予定の3校は必要最小限の改修で対応する。

問 旧東幼稚園解体設計費407万円の経緯は。

答 老朽化等により園舎は使用休止しており、その後、認定こども園へ統合されている。令和9年3月までに除却を行う必要があるため解体工事の設計業務やアスベスト調査を行う。

問 学校建設基金積立1億円の理由は。給食費無償化への充当は考えなかったのか。

答 交付税増額分を積立し将来の学校施設整備や大規模改修等に備える。物価高騰対策は全市民におこめ券配布で対応した。

○議案第42号 令和7年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

問 介護給付費準備基金1億1,136万円の積立後残高と用途は。

答 補正後の残高は約5億5,743万円となる予定。用途は、急激な給付費の増額等の不測の事態に備え、安定した介護保険事業の運営を行うため。



決算特別委員会

9月17日、18日、19日、当委員会に付託された議案9件の審査を行った。

○令和6年度高萩市一般会計歳入歳出決算認定について

問 令和6年度の高萩ふるさと納税寄附金が、令和5年度の決算比で186万5千円の増となつたことについての総括を伺う。

答 令和6年度の高萩ふるさと納税寄附金は、県内外から多くの寄附があった。寄附件数は1,167件となり、これは台風13号の被害を受けた地域という特殊要因があった令和5年度とほぼ同水準となった。寄附金額も前年比で、186万5千円の増、率にして約6.5%の増となっている。これは、災害等といった一時的な要因に左右されることなく、本市への支援、支持が着実に広がつてきていることを示していると考えている。

問 バス路線運行維持費補助金3,900万円の内訳を伺う。

答 バス路線運行維持の補助金は、定時定路線分は、運行経費から運行収入等を差し引いた差額のマイナス分の3分の2を、My Rideのるるは、経費の3分の2を補助している。

内訳は、千代田・関口線は318万5,704円、和野線は375万2,923円、高萩協同病院線は169万8千円、ソーラーリゾート線は140万2千円、いぶき台団地線は90万円、My Rideのるるは2,806万1,373円となっている。

問 森林経営管理経費のうち身近なみどり整備推進事業委託料211万2千円の事業内容を伺う。

答 令和6年度は、石滝の明秀学園の敷地内的一部、通学路等の道路沿いの森林整備として、杉等の間伐、枝打ちなどを0.06ヘクタールを整備した。

問 橋梁点検調査委託料2,791万円の事業内容について伺う。また、市で管理している橋がいくつあって、今回の点検は何か所行ったのか伺う。

答 橋梁定期点検は、5年に1度の法定点検により実施している調査で、国土交通省の橋梁点検要領に基づき実施している。高萩市が市道と

して管理している橋梁は、全部で223橋あり、そのうち法定点検を義務づけられていない橋梁を除くと、点検対象は206橋である。令和5年度繰越分として4橋、令和6年度で61橋点検している。

問 I C T 教育環境整備機器借上料3,342万円の内訳を伺う。

答 内訳は、児童生徒用のタブレットに必要なネットワーク機器、教員の公務用パソコンやサーバー、公務支援ソフト等の使用料及び保守管理費用になっている。契約時期は異なるが、いずれも5年間のリース契約としている。

問 学校給食費徴収金7,093万9,604円の内訳を伺う。

答 小学校は、児童数1,041人、徴収金額は3,488万2,022円。職員分は116人で、徴収金額は519万8,528円。小学校計は1,157人で、4,008万550円です。

中学校は、生徒数554人で、徴収金額は2,619万6,355円。職員分は86人で、徴収金額は466万2,699円。中学校計では640人で、3,085万9,054円。合計で7,093万9,604円となっている。

○令和6年度高萩市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

問 国民健康保険税の不納欠損は223万3千円で前年度より410万9,000円減となっているが、この要因について伺います。

答 令和4年度の市の機構改革により国民健康保険税の徴収事務が税務課に移管され、市税と一体的に徴収事務を行つたことで滞納繰越分の処理が整理されたことや、納税折衝の強化が滞納者の減につながつたことが要因と考える。





藤橋 隼 議員



防草対策に関する 耕作放棄地の活用について

質問 人口減少で除草作業の継続が困難になるため、省力化が必要ではないか。他自治体では砂苔防草シートや防草人工砂の事例がある。本市でも公共用地での実証実験や地産地消型の取組を検討できないか。

産業建設部長 防草ブロック工法で一定の効果を確認した。砂苔防草シートは耕作放棄地解消や雇用創出に期待できるが導入事例が少ないため、他自治体の状況を調査研究し、有効と判断すれば採用を検討する。



砂苔シート施工事例

地域経済循環の「見える化」について

質問 財政指標だけでなく市内のお金の流れを可視化することが重要である。国の分析ツールでは傾向しか分からぬいため、イベント消費調査や産業関連表を活用した地域経済循環の分析を本市でも行うべきではないか。

企画総務部長 行政イベントは経済効果だけが目的ではないが、地域経済循環の調査は興味深く今後も研究したい。市外への経済流出の抑制策についても調査研究を進める。

蒸気機関車があるまちづくりについて

質問 蒸気機関車は解体のほうが経費負担は少ないと理解するが、市民からは保存を望む声や署名もある。今後、市民や保存団体と協議の場を設ける考えはあるか。

市長 市民や保存団体の協力で維持されてきたことに感謝する。しかし内部の老朽化が激しく、安全面から解体の時期であることは多くの方が承知していると思う。市民や保存団体との連携については、アスベスト調査結果を踏まえ、部品の展示等を含め対応する。

高浜スポーツ広場の蒸気機関車
(昭和 47 年当時)

我妻 康伸 議員



コミュニティ施設について

質問 コミュニティ形成の支援について、市長の考え方をお知らせください。

市長 今後は、地域の中で比較的活力のある目的別組織同士の連携を図るなど、より持続可能で協力しやすい地域づくりを支援するため、新たな仕組みを構築してまいりたいと考えております。また、かねてより各地区、地域から要望いただいている防犯灯の電気料及び経年劣化による修繕費用等の費用負担につきましても、新たなコミュニティ支援策として実施に向け検討しているところあります。

民生委員・児童委員について

質問 民生委員・児童委員の活動は、地域の安心・安全を支えていただいている。今後も活動を支援し、担い手確保するための継続的な取組が重要であると思います。今後の取組についてお伺いします。

健康福祉部長 今後の取組といたしましては、担い手を確保するための継続的かつ計画的な取組が重要であると考えております。具体的には、現場の負担感を軽減するための活動内容の見直し、民生委員制度の理解促進を図るための市報等による周知活動、自治会や学校関係者、地域団体等との連携を強化することなどあります。このような取組を通じまして、切れ目なく民生委員の担い手を確保し、地域社会の支え合いの仕組みを構築していきたいと考えております。



飯能市・高萩市民児協交流会の様子



畠山結樹 議員



高萩市小中学校 卒業アルバム価格について

質問 今年度の市内小中学校卒業アルバム価格について伺う。

教育部長 今年度は一番高い価格は、1人当たりの単価が2万5,740円です。一方一番低額の金額が2万1,780円です。

質問 3万円台から2万5千円台に下がった理由を伺う。

教育部長 一番高いところの対象となる生徒数が32名で、人数の関係で価格が昨年度よりも低額になっている。

質問 児童数が減少すると卒業アルバム価格が高騰するという認識でよいか。

教育部長 一つの目安として児童数、生徒数が1クラス全体で30名が価格に影響する人数である。今年度、来年度については、今年度と同様に大きな価格差というのは生じないが、数年後には昨年度と同様に、大きな価格差になる年度が訪れるることは間違いない。

質問 高萩市としての公平性の担保について伺う。児童数の減少により卒業アルバム価格の高騰につながっている地域差は適正か。

教育部長 これまで行政が関与していなかったが、卒業アルバムの単価の相違による不公平性を解消するためには、本市としても関与していく必要があると考えている。

教育長 現在の小学校5年生、中学校2年生の卒業時には、必ず確実な新しいよりよい仕組みを構築したいと考えている。そして、保護者の皆様の負担軽減と、卒業アルバムの魅力を失うことのないよう、全ての児童生徒が卒業の思い出を公平に残せるよう、引き続き努力する。



高久聰至 議員



公共入札について

質問 過去5年間の地元業者の受注割合について伺う。

企画総務部長

年度	全ての入札		工事関係入札	
	件数	割合	件数	割合
令和2年度	117	48.7%	42	81.0%
令和3年度	95	46.2%	32	78.1%
令和4年度	106	52.0%	34	85.3%
令和5年度	89	48.6%	26	84.6%
令和6年度	95	55.2%	30	90.0%

質問 分割発注や小規模工事案件を用意することで、地元業者にも参加機会を確保しているのか伺う。

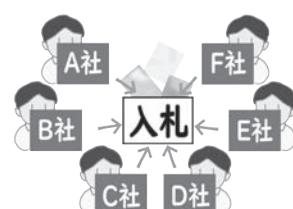
企画総務部長 経費等発注金額に影響が出ないものについては、分割発注、工区分け等を行い発注している場合もある。地元事業者に対して分割発注や小規模工事をすることで、受注機会を用意するような案件は、公平性、透明性の観点から設けていない。

質問 災害発生時の緊急工事についてどのような業者選定を行っているのか伺う。

企画総務部長 災害時の緊急工事については、災害の応急復旧など緊急を要することから、災害応急復旧工事に関する協定書に基づき、市内業者と総務課において契約を締結している。契約方法は、緊急性が高いことから、随意契約で締結している。

質問 電子入札システムの導入によって利便性やコスト削減効果が出ているのか伺う。

企画総務部長 入札通知をシステムから行えることや、設計図書の電子化による事務の効率化、郵便料やペーパーレス化によるコスト削減。事業者につきましても設計図書の閲覧及び対面入札のための移動時間の削減など、事務の効率化が図られている。





坪和久男 議員



フレイル予防事業の拡充について

質問 フレイルを予防することが健康寿命を伸ばすことにつながり、更に平均寿命の延伸につながることを多くの市民に知って頂きたい。フレイルの認知度アップ、eスポーツの導入について伺います。

市長 昨年12月に、総合福祉センターで開催された社会福祉協議会主催のeスポーツ体験会には私も参加いたしましたが、参加者の皆さん表情には本当に楽しさがあふれ、会場全体が活気に包まれておりました。

市のイベントや事業等においてeスポーツ体験ができる機会を増やし、その認知度と効果を市民に浸透させ、ひいては高齢者の社会参加機会の拡大、フレイルの予防や改善、認知度アップにもつなげてまいりたいと考えております。



花貫渓谷の利活用・整備事業等について

質問 花貫渓谷メインスポットの汐見滝吊り橋付の中間サイト整備事業を優先的に進めて頂きたい。

産業建設部長 中間サイトに駐車場、トイレ、カフェや物販機能等の整備案を掲げているところですが、当該エリアには市が寄附を受けた土地のほかに民地があることから、構想の整備案のとおり進めるまでには調整が必要になります。市の財政状況等を踏まえ検討してまいりたいと考えております。

質問 汐見滝吊り橋付近の駐車場確保のため、応急処置として中間サイトの東側の一部を利用したい。

産業建設部長 中間サイト全体の土地活用の最適化や整備コストの増大なども考えられることから、費用対効果などを含め調査研究してまいりたいと考えております。



花貫渓谷中間サイトイメージ



田所和雄 議員



高萩市財政事情書から見た財政の現状について

質問 20年前の平成17年9月の時点では、375億円の借入金があり、高萩市の財政は破綻寸前と言われていた。令和7年3月の時点では、借入金174億8,300万円で、20年間で、借入金を200億円返済している。令和3年~7年までの4年間では借入金が18億円減少し、積立基金が16億円増加しています。財政の現状について認識を伺います。

市長 市の財政状況は着実に健全化が進んでいますが、引き続き、行財政健全化計画に基づき、施策の選択と集中を進め、市民サービスの質を維持しつつ健全な財政運営の推進のために、より効果的な予算執行に努めます。

高萩市の人口減少の現状について

質問 本市の人口は、昨年7月から今年7月の1年間で、651人減少し2万5,107人です。社人研の令和5年の新しい推計では令和32年の推計人口は、1万4,824人となっています。令和2年の2万7,699人と比較して53.3%で、社人研推計の人口減少率は、県内44市町村中、下から8番目です。人口減少について所感を伺います。

市長 本市としてできる限りの施策を展開していますが、人口減少や少子化は、一自治体の努力だけでは解決できるものではありません。国全体、社会全体で取組む必要があると考えます。

空き家等対策について

質問 空き家等実態調査の概要について伺います。

市民生活部長 令和2年度の調査による本市の空き家数は、353件でした。令和7年度は、約600件となる見込みです。

その他の質問

高萩市都市計画マスターplanの策定について





菊地正芳 議員



各小中学校への冷水機の設置について

質問 今年の夏も記録的な猛暑となり、全国で熱中症による搬送が相次ぎ。文科省が公開している資料では、令和6年度の夏の気温は、気象庁による1946年の統計開始以降、西日本と沖縄・奄美で歴代1位、東日本は1位タイとなり、日本国内での熱中症による緊急搬送人員全年齢は9万7,578人となり、また、こうした状況において学校の管理下や登下校中における熱中症は2,960件が確認されているとのことです。もはや異常気象というだけで片づけられない、毎年常態化していると言える。こうした中で、学校での水分補給をどう確保するかは待ったなしの課題であると考えています。

このことは令和5年9月議会でも取り上げているが、教育委員会として冷水機の導入を前向きに検討しているのか、それとも現状で考えていないのか、明確にお答えを頂きたい。

教育長 近年の夏の厳しい暑さの状況を踏まえると、冷水機の導入については、熱中症対策として有効であると認識しております。

本市の学校施設を取り巻く状況としては、ＩＣＴ機器の更新やＬＥＤ化改修、防犯設備や老朽化施設の対応など、財政的課題は山積しております。しかし冷水機の設置については、取り組むべき課題であると捉えています。

本市の学校における熱中症対策としては、体育館の空調機器の整備が本年7月に完了したところですが、冷水機の設置もまた空調機器と同様に、熱中症対策の一環であると捉えていますので、実現に向けて取り組んでまいります。



その他の質問

ペット防災手帳について



今川敏宏 議員



草刈り除草、樹木剪定問題について

質問 高萩市は約8割が山林ということや、川や海の美しい自然を生かす水と緑のまちをアピールポイントとしてきたと思います。さらに今、市長は、アウトドアレジャーを推進する施策に注力していると感じています。その緑のまちの側面であり、反面もあるのは、市民の暮らしに影響をもたらす大きな課題面になっているものがあります。市の事業として草刈り除草や樹木剪定管理に係る各所管ごとの予算規模と、その経費の以前からの推移を伺います。

産業建設部長 令和4年度は、道路が約1,650万円、学校が約2,060万円、その他施設が約5,730万円、合計しますと約9,440万円です。令和5年度は、道路が約1,660万円、学校が約2,520万円、その他施設が約6,280万円で、合計約1億460万円であり、前年度比で10.8%の増加となっています。経費の推移から鑑みると、年々増加傾向になるものと想定をしています。

要望 今、各所管ごとのこれまでの経費の説明を頂きましたが、これには恐らく住民自身が草刈り管理している集会所、地域の道路、公園とかの経費は含まれていないと思います。前にも言ったと思うんですが、やはりそうした草刈りの制度を確立して、例えば草刈り機の使い方、講習会とか、または燃料配付とか、また刈った草を運搬するとか、そういうものをしっかりと制度としてつくっていくのがいいのかなと思いますので、御検討いただきたいと思います。

その他の質問

高浜スポーツ広場について 市長について



会瀬スポーツ広場の人工芝

※2 議員辞職勧告決議を賛成多数で決議

今定例会初日の9月5日(金)に、菊地正芳 副議長より「大平望議員に対する辞職勧告決議」が提案されました。これは、過去にSNS上で不適切な投稿を繰り返し、令和6年1月に議長による厳重注意及び令和6年9月本会議における謝罪を行った経緯があるにもかかわらず、再び、大平議員のSNS上で陳情者に対する不適切な投稿を行ったことを受け提出されたものです。

提案理由説明後、委員会付託を省略して採決を行った結果、賛成多数で原案が決議されました。

(なお、議員に対する辞職勧告決議は、法的な拘束力を持ちません。)

大平望議員の辞職勧告に関する決議

大平望議員は、令和7年6月19日、自身のSNS (Facebook)において、「今回は総務産業付託でトンデモ陳情がありました…。余りに酷いので全員否決。何を考えているのかわかりませんが、もはや一般市民とは言えない人からの陳情だったんですね…。陳情が通ってしまったなら今後高萩市に協力する会社はいなくなるんじゃないかなってぐらいの話だったので内心腸煮え繰り返ってたんですけど、まあ静かに否決されたので大人しくしてました？」と誹謗する投稿を行った。このことは、総務産業委員会に付託された陳情を「トンデモ陳情」とやゆし、さらにその提出者を「もはや一般市民とは言えない」と誹謗する内容の投稿であります。

陳情は、憲法第16条に基づく市民の基本的権利であり、地方自治法第124条に定められた重要な制度である請願に準ずるものである。市民が自由に意見を述べ、議会に訴えることは主権在民の理念に直結する極めて大切な民主的手段である。

それにもかかわらず、大平望議員の発言は、陳情権を行使した市民をやゆ、排除するかのときものであり、市民の自由な言動を頭から封殺する姿勢を示すものと受け止められ、市民からも「このような言動を許してはならない」との強い抗議文書が寄せられている。さらに、大平望議員は過去にもSNS上で不適切な投稿を

繰り返し、令和6年1月に議長による厳重注意及び令和6年9月本会議における謝罪を行った経緯がある。この時の謝罪内容は「このたびは、私のSNSでの不適切な発言で議会の皆様に御迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。今後は、議員としての自覚、責任を持ち、SNS利用に際し、細心の注意をしてまいります。また、社会規範を遵守し、市民の皆様に恥じることのないよう議員としての品位の保持に努めてまいります。大変申し訳ございませんでした。」であった。

このように謝罪を行ったにもかかわらず、再び同様の行為に及んでいる。これは、議員自らの責任を省みる姿勢に欠け、議会の自浄作用をも否定する行為と言わざるを得ない。

地方議会は、市民の信頼を基盤として成り立つものである。主権者である市民を軽視し、その権利を損なうような言動を繰り返す議員に対し、もはや議員としての資格はないと断ぜざるを得ない。

よって本議会は大平望議員に対し、自らの行為が議会の品位と市民の信頼を著しく損ねたことを深く自覚し、その責任を取って速やかに議員を辞職することを強く勧告する。

令和7年9月5日

高萩市議会

※2・※3…14ページの用語解説をご参照ください。



討 論

議案第39号 令和7年度高萩市一般会計 補正予算(第3号)

賛成

菊地 正芳 議員

おこめギフト券配付について、本市はこれまで非課税世帯や低所得者世帯に対する支援策を実施してきたが、現在の物価高騰は、非課税世帯や低所得者のみならず、中間層や一般世帯にも負担となっている。こうした状況に対し、全ての市民を対象にした生活支援を行うという判断は、市長の英断であり、その手腕を高く評価する。

支援内容は、1人当たり2,640円分のおこめギフト券が支給される。お米は全ての世帯で必要な生活必需品であり、日常生活に直結した支援である。おこめギフト券は全国の取扱店で利用できるため、市外に居住する学生や単身赴任中の市民にも届きやすい仕組みである。また、換金性が低いため、不正利用の心配が少なく、お米以外の商品にも交換できる店舗が増えてお

り、その交換範囲が広いという点も適切な支援手段であると評価できる。

更に、この事業の財源には、国の臨時交付金が活用され、市の一般財源を圧迫せず実施できる点も大きな意義がある。

もちろん支給額が1人当たり2,640円という金額は、決して十分ではないが、単なる金額の大小にとどまらず、市民全体が困難を共有する時期にあって、市がしっかりと市民に寄り添い支援するというメッセージ性に大きな意味がある。こうした姿勢が、行政への信頼感を高めると同時に、生活に不安を抱える市民にとって安心につながるものと確信する。

以上の理由から、本議案は市民の生活を守るために必要であり、適切かつ有効な施策であると判断する。市長が迅速に判断し、執行部が実効性のある制度設計を行ったことに敬意を表し、私の賛成討論とする。



請願・陳情の審議結果

事件番号	件 名	結 果
請願第4号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	採 択
陳情第5号	令和3年に総務省消防庁より消防団員の年額報酬、出動手当の処遇改善が通知されているが高萩市は未改善、高萩市消防団員の処遇改善を求める陳情	採 択

議員賛否一覧(議案等に対して賛否の分かれたものを掲載)

○=賛成(採択) ●=反対(不採択) 退=退席(棄権) 欠=欠席 除=除斥

議員名 (議席順)	大平 望	富山 結樹	高久 聰至	藤橋 隼	坪和 久男	渡辺 悦夫	我妻 康伸	八木 陽子	大森 要二	田所 和雄	菊地 正芳	吉川 道隆	今川 敏宏	寺岡 七郎	結 果
事件番号															
決議案第1号 大平望議員に対する 辞職勧告決議の提出 について	除	○	○	○	●	●	○	○	欠	●	○	○	○	※	原案 可決

※議長は可否同数の場合を除き、採決に加わりません。

委員会視察報告

◇文教厚生委員会◇

○7月1日～3日

○調査事項 「eスポーツを活用したフレイル予防について」

【視察地】奈良県川西町

川西町では高齢者の健康づくりにeスポーツを導入し、令和4年度から教室を開始。これまでに平均年齢77歳、90歳代も含む171人が参加し、孫世代との交流や動機づけ、操作習得による脳機能刺激、基礎体力の向上などの効果が見られている。機材の9割を町が補助したことで老人クラブの自主運営も進展。本市でも既存のシルバーボディ操やサロン等と連携しつつ三世代交流事業の一環として導入すれば、人材を分散させず活動メニューを豊かにできる可能性を確認できた。

また本市において茨城県二級水系流域治水プロジェクトが進行中であることから、川西町で建設中の遊水地と、その上部を活用して整備が進められているスポーツパークの現地を視察した。

○調査事項 「義務教育学校について」

【視察地】奈良県王寺町

王寺町において既に開校・運営されている義務教育学校を視察した。

同町では校長1名、副校長1名、教頭2名による体制を整え、建設前から3年間にわたり委員会で検討を重ね、教職員や町職員と意見を共有しながら教育内容や施設整備に反映している。義務教育学校は単なる学校統廃合ではなく、子どものライフステージや発達段階に即した新たな教育プログラムの構築と位置づけられ、この検討期間を設けたことは極めて重要であったといえる。

課題としては、教職員の資格体制や9年生の課程区分が現行制度と異なる点が挙げられた。一方で、中学校進学時の「中一ギャップ」の解消や、多様化する子どもたちの課題に専門性をもって対応できる教育環境の実現など、大きなメリットが確認できた。



行政視察の様子（奈良県川西町）

議会日誌

7月

28日 第1回日立・高萩広域下水道組合議会臨時会

8月

27日 議会運営委員会
28日 議会全員協議会

9月

5～25日 第3回定例会
25日 議会全員協議会
議会広報委員会
26日 高北事務組合議会定例会
30日 県北市議会議長会定例会

10月

15日 関東市議会議長会理事会
22日 茨城県市議会議長会定例会

声の広報

(議会だよりの音声版)

ボランティアグループ「高萩読みきかせグループ」が音訳した『議会だより』を、市ホームページから聞くことができます。



市内在住 (女性)

駅前に立つと、シャッターが閉まつたままの店が目立ち、夜はとても暗くて心細く感じます。電車を降りて家族の迎えを待つにも、安心できる場所がなくて困ることがあります。

また、市内には空き地や古い空き家が増えており、崩れそうで危ないと感じる場所もあります。子どもたちや高齢者が安心して歩けるまちであってほしいと思います。

移動手段についても、「My Ride のるる」はあるけれど、電車との接続がうまくいかず、あまり便利に使えていないのが現状です。タクシー券も免許を返納したときだけでなく、北茨城市のように毎年交付してもらえると助かります。

県の施策については、パンダの話題はよく聞くものの、県北のことがあまり取り上げられて

いないように感じます。もっと県北の魅力を発信していただきたいです。

市内の病院が木曜日に一斉に休みになるのも、とても困るという声があります。体調を崩したとき、どこにもかかれないので不安です。

小さな声かもしれません、安心して暮らせるまちづくりのために、市政に届けたい思いです。



令和7年第4回定例会（12月）予定

- 5日(金) 本会議 議案上程
- 8日(月) 本会議 一般質問
- 9日(火) 本会議 一般質問
- 11日(木) 本会議 議案質疑
- 12日(金) 文教厚生委員会
- 15日(月) 総務産業委員会
- 16日(火) 議会改革特別委員会
- 18日(木) 本会議 採決

※開会中においても日程等が変更になることがあります。

インターネットの放送予定



	インターネット
本会議	市ホームページ (携帯・タブレット可)
総務産業委員会 文教厚生委員会	YouTube
議会改革特別委員会	YouTube

市のホームページは「高萩市議会」からお入りください。委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのYouTubeを利用しています。使用環境によっては、視聴できない場合があります。

※過去の録画映像もご覧いただけます。

用語解説

議会において使われた用語(※印)について、解説します。

※1 オーバーツーリズム

観光地に訪れる人の数が過剰になり、地域の暮らしや自然環境、観光体験そのものに悪い影響を及ぼしてしまう状態のこと。日本語では「觀光公害」とも呼ばれる。

※2 辞職勧告決議

法的拘束力はなく議員の信任について議会の意思を示すもので、懲罰にはあたらない。

※3 議会の自浄作用

議会が自らの内部で不適切な行為や発言を正し、規律や信頼を保とうとする働きのこと。

